

事業所における自己評価結果 (公表)

公表:令和 6年 3月 29日

事業所名 療育型放課後等デイサービスここいろ第2

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係 で適切である	2	1	1	状況に応じて、パーテーションやテントで部屋を区切っている。	
	②	職員の配置数は適切である	1	2	1	死角を作らないような立ち位置に工夫している。	
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の 配慮が適切になされている	2	2	0	簡易の足台、踏み台、段差解消ステップを設置している。	
業務 改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル (目標設定と振り返り)に、広く職員が参画 している	2	2	0		ランチ会議を少なくとも月に1回は開いているので、前月と比較してどう変化したのか確認したい。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	3	1	0		
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3	1	0		
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	2	0	保護者からは、連絡帳や送迎にて絶え間なくご意見ご要望が届くので、日々の振り返りや打ち合わせでその都度協議して、業務改善に繋げている	
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4	0	0		
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	3	1	0		
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	2	1	1	個別課題の時間に、認知発達に焦点を絞った知育ツールを導入している。また、グループ活動においても、発達段階を見極めるための指標(言葉、視覚操作、自己認知、自他区別、交代、順番、協同などの様々な項目)を参考にプログラムを組み立てている	
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っている	3	1	0		
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	3	1	0		
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	3	1	0		

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	3	1	0		
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の内容や役割分担について確認している	4	0	0		
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	0	0		
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	3	1	0		
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者と	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	2	1	1	見直すか否かは、担当支援員の意見を尊重しているが、少なくとも年に2回のモニタリングでは適切に判断している。	
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	2	2	0	前述⑩も含め、ガイドライン以上のものはほぼ実施しているが、「②基本活動 ウ 地域交流機会の提供」はやや後進のみ。しかし、奉仕活動の時間を設け、近隣住民や地域との草の根的な交流を図っている。	
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	2	1	1	支援学校を含めての担当者会議にて、ケース担当支援員を派遣した。	
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	2	1	1	上記担当者会議をはじめ、支援計画の提出、学校送迎時での引き継ぎ等、綿密に情報共有できている。	
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	1	2	1	当事業所は該当せず。	
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	1	3	0	法人内の児童発達支援事業所とは情報共有できている。	
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	3	1	0		
㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1	3	0	・法人内の事業所からは助言を受けている。 ・発達支援センターとは過去に連絡を取り合っていたが、近年では新規利用児が同一法人からの内部進級者に限られているため、連携の機会が減少した。		

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
の 連 携	②⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	0	1	3	公園外出の際に地域の子ども達との接点を設け、社会啓発的な関わりを継続している。	
	②⑦	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加している	0	1	3	現時点で該当者はいないが、今後学校卒業や就労の機会にご家族から相談	
	②⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	3	1	0		
	②⑨	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	1	1	2	必要に応じて、事業所内相談支援を実施している。	
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	2	2	0	年に1回の契約にて行っており、その際には苦情解決責任者と担当者についても口頭で触れてい	
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	3	1	0		
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	1	2		昨年度までは、法人主催の家族連絡会(勉強会)を開いていたため今後検討したい。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	3	1	0		
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	2	2	0	昨年度から改善し、未実施から2回に増やした。	
	③⑮	個人情報に十分注意している	3	1	0		
	③⑯	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	3	1	0		
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	1	2		
非 常 時 等 の 対 応	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	0	4	0	まずはマニュアルの策定から取り組んでいきたい。	
	③⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	2	2	0		
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	3	1	0		
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	4	0	0		

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
④②	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	2	2	0	現時点で該当はないが、調理活動の際には毎回必ずお知らせを発行し、周知確認している。	
④③	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	3	1	0		

この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの事業所評価の集計結果 (公表)

公表:令和 6年 3月 29日

事業所名 療育型放課後等デイサービスこころ第2 保護者等数(児童数) 24 回収数 19 割合 79%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	18	1	0		
	②	職員の配置数や専門性は適切である	18	1	0		
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされている	16	3	0	・見ていないので。(→どちらでもない)	ご希望があれば、活動室の見学やご案内をしたい。
適切な 支援の 提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されている	18	1	0	・祝日は閉所、職員研修で利用日が閉所というのが今年度は多いように感じます。また、毎年年度末～年度初めの閉所も何とかならないのでしょうか	・今年度、職員研修による閉所は、全て金曜日だったため、次年度以降は日程を検討する。 ・年度末の閉所日は、昨年度3日間あったが、今年度は1日のみに減らした。次年度以降の休所日について、利用児・保護者のニーズに合わせて再
	⑤	活動プログラムが固定化しないよう工夫されている	18	1	0		
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	7	6	6	・公園外出等で機会があるかも知れないと思いましたが	・公園外出や地域の奉仕活動を実施しており、草の根的な交流は継続していきたい。
保護者 への 説明 等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	19	0	0		
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができている	18	1	0		
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている	18	1	0		
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されている	9	7	3	・勉強会等の通知は早めに頂きたいです。仕事の都合をつけて参加したいと思っているので。 ・分かりません。(→どちらでもない)	・勉強会は、早い時期に通知する。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	15	4	0	・苦情は聞いたことがありません。(→どちらでもない)	・契約の際に、苦情(受付担当者、対応責任者)について説明している。今年度の苦情はなかったが、万が一の際は迅速かつ丁寧に誠意を持って対応する。
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている	18	1	0		
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信している	13	6	0	・分かりません。(→どちらでもない)	・会報の発行自体が少ないため(年2回)、その際に活動の情報だけでなく、自己評価についても追記できるよう配慮する。
	⑭	個人情報に十分注意している	18	1	0		

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
非常時等の 対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されている	10	9	0		
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている	10	8	1	・年に1回は行われているようですが、災害の種類によって訓練の方法が異なると思うのと、忘れてしまっ ては無意味のた	・消防署に通達義務のある訓練以外にも、防災認識を深めるために任意の活動を実施したい(紙芝居等)。エレベーターを使用しない館内移動を、不測の事態に備え定期的に行っている。
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしている	14	5	0		
	⑱	事業所の支援に満足している	13	6	0		

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け放課後等
デイサービス自己評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。